

あの火災 - 西日本防災システム

あと一ヶ月で今年も終わりを迎えるこの肌寒い頃、私は忘れられない火災があります。

1992年の**ウインザー城大火災**です。

この火災は、プライベート・チャペルの祭壇付近に掛けられていたカーテンがスポットライトで加熱され発火したもので、幾つかの部屋の天井が焼け落ちるなどの被害をもたらしました。そして、その多額の補修費用を捻出するためイギリス政府はバッキンガム宮殿を毎年夏の間だけ一般公開しました。警備上の問題は大丈夫？と感じますが、・・・火災が発生した建物は、5年の歳月をかけてモダン・ゴシック様式として再建され、現在ではそのプライベート・チャペルも見学することが出来ます。(「**ここから火災が発生しました!**」とコンクリートを埋め込まれているそうです。)

この大火災により6室と3つの塔が完全焼失し、大打撃を受けました。200名以上の消防士が15時間にわたって消火活動にあたり、なんとか被害を最小限にとどめることができました。二つの大きな世界大戦も耐え込んだウインザー城にとっては思いがけない大惨事となってしまいました。

修復費用の3、700万ポンド(現在レートでは48億円超)は本来、政府負担となるべきものですが、出火の原因は城の不注意のため女王が費用の大半を賄うことを発表しました。翌年よりバッキンガム宮殿が一般公開されることになり、ウインザー城の入場料とともに、その収益金が修復にあてがわれました。

このあたりに英国政府と女王のすばらしさを感じます。



映像はインターネットより

過去にはなんだかんだといろいろ噂が飛び交い、大変な時もありましたが、900年の時を刻み続けるウインザー城とそれを支える王室の皆様、イングランド国民の皆様にご心からエールを送ります。



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

